

令和5年産米の秋田県の「生産の目安」について

令和4年11月25日
秋田県農業再生協議会

令和5年産主食用米の本県全体の「生産の目安」について、令和4年11月25日に開催した当協議会臨時総会において、次のとおり決定しました。

令和5年産の秋田県の「生産の目安」 398,700 トン
(面積換算値 69,100 ha)
4年産実績対比 (面積ベース) **±0 ha**
±0 %

令和5年産米の県の「生産の目安」について

1 算定方法

本県の「生産の目安」は、

- ・ 全国生産量と県産米シェア（平年データ）から算出した数値（目安A）と
- ・ 需給動向（直近データ）と適正在庫量から算出した数値（目安B）

の中間値を基本とし、必要に応じて「販売状況を踏まえた補正」を行って設定している。

2 算定に用いる数値

(1) 全国需要量と県産米シェア

直近7カ年の県産米シェアと7中5平均

年産米	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	7中5 平均
全国(トン)	7,662,000	7,540,000	7,396,000	7,346,000	7,143,500	7,040,000	7,015,000	-
秋田県(トン)	470,654	413,615	399,388	436,760	433,456	443,083	417,616	-
県産米シェア(%)	6.1427	5.4856	5.4001	5.9455	6.0678	6.2938	5.9532	5.9190
平均値採用	○	○	×	○	○	×	○	

出典：米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針

(2) 適正在庫量

6月末の県産米の適正在庫量は、10万トンから12万トン（※）とし、期末在庫量が適正範囲内となるように「生産の目安」を設定する。

※10万トン：国が「安定供給が可能な水準」とする全国在庫量180万トンに県産米シェアを乗じた在庫量。

※12万トン：県産米の価格が安定すると見込まれる在庫量。

(3) 国の需要見通し（国によるトレンド推計：令和4年10月基本指針より）

① 平成8/9年～令和3/4年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 a	人口 b	1人当たり消費量 a/b
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4

⋮

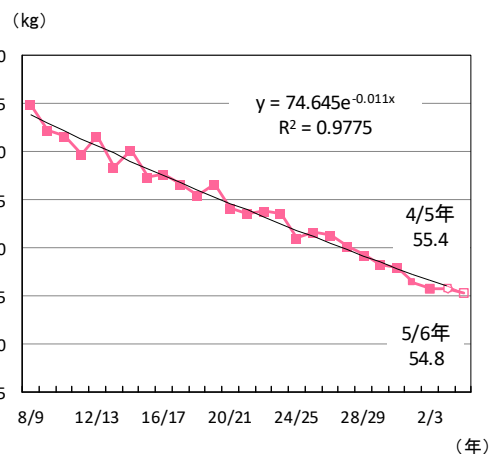
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	127,042	59.4
29/30	739.6	126,919	58.3
30/元	734.6	126,749	58.0
元/2	714.4	126,555	56.4
2/3	704.0	126,146	55.8
3/4	701.5	125,502	55.9

② 令和4/5の1人当たり消費量(推計値)を算出

年	x	1人当たり消費量 (y)
		kg
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4

⋮

24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.3
30/元	23	58.0
元/2	24	56.4
2/3	25	55.8
3/4	26	55.9
4/5	27	55.4 (推計値)
5/6	28	54.8 (推計値)



※ 人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値。

③ 令和4/5年及び令和5/6年の1人当たり消費量(推計値)に令和4年及び令和5年の人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

		4/5年	5/6年
1人当たり消費量(推計値)	a	55.4kg	54.8kg
人口(推計値)	b	124,750千人	124,189千人
需要見通し	$c = a \times b$	690.9万吨	680.3万吨
直近の販売動向、相対価格から見通される需要増	d	6万吨	-
販売動向等から見通した需要量	$e = c + d$	691万~ 697万吨	680万吨

注1: 人口(推計値)は、令和4年においては「人口推計(総務省、令和4年9月公表)」の総人口(令和4年9月1日現在(概算値))。以下「令和4年9月現在人口」という。)、令和5年においては令和4年9月現在人口に「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、平成29年4月公表)」の令和4年10月1日から令和5年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算出した値。

注2: 図中の需要見通しは、1人当たり消費量(推計値)の実数に、人口(推計値)の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量(推計値)(小数点第2位を四捨五入)に人口(推計値)(小数点第1位を四捨五入)を乗じて算出した値とは一致しない。

(4) 県産米の需要見通し

4年産米は、3年産米需要に、全国の3年から4年までの需要減少率を乗じて算出した。

5年産米については、4年産米需要見通しに全国の4年から5年までの需要減少率を乗じて算出した。

	3/4年実績	4/5年見通し (減少率)	5/6年見通し (減少率)
国需要	702 万吨	691 万吨 (98.5%)	680 万吨 (98.5%)
県需要	417,616 トン	411,306 トン	404,995 トン

※ 国の実績及び見通し・3/4年の県需要は4年10月基本指針

3 令和5年産米の県の「生産の目安」の算出

(1) 全国生産量と県産米シェアから算出した数値(目安A)

①5年産米全国生産量 (4年10月 基本指針)	②5年産米(県目安A) (①×県産米シェア5.919%)
669 万吨	395,981 トン

(2) 県産米の需給動向と適正在庫量から算出した数値(目安B)

<4年産米の需給予測>		<5年産米の需給予測>	
【供給】	【需要】	【供給】	【需要】
②生産量予想 382,800トン 10/25現在予想収穫量	③需要量見通し 411,306トン 3年需要417,616トン × 全国需要減少率(R3→R4) 0.985	⑦適正生産量 目安B 404,995トン ⑤+⑥-④	⑥需要量見通し 404,995トン 4年需要411,306トン × 全国需要減少率(R4→R5) 0.985
①4年6月在庫 147,582トン 確定値 4年10月基本指針	④5年6月在庫見通し 119,076トン ①+②-③	④5年6月在庫見通し 119,076トン	⑤6年6月目標在庫 119,076トン

維持

(3) 目安AとBの中間値の算出

県目安A	県目安B	中間値 (A+B)÷2
395,981トン	404,995トン	400,488トン

(4) 直近の販売状況を踏まえた補正

県産米の需給状況は、令和5年6月末在庫量が適正水準の上限程度まで減少する見込みであるものの、

- ・ 持ち越し在庫が多く、その解消を優先する必要があること
- ・ 物価高騰による節約志向により、消費動向が不安定でコロナ禍前に戻っていないこと

などから、生産量を増やす状況にはなく、5年産の作付面積は本年産実績と同面積とする。

(5) 令和5年産米の「生産の目安」

4年産米 面積(実績)		県平年単収		令和5年産米「生産の目安」 (面積換算値)	4年産実績対比 (面積ベース)
69,100ha	×	577kg/10a	=	398,700トン (中間値比▲1.781)	
				≡	
				398,700トン (69,100ha)	±0ha、±0%

【参考】

主産県における在庫量・需要量の増減 (R4.10 基本指針より) (万トン)

No.	都道府県	3年産米生産量	4年6月末在庫	4年6月末在庫/ 3年産米生産量 (%)
	全国	700.7	217.6	31%
1	北海道	53.1	23.9	45%
2	青森	21.0	8.5	41%
3	岩手	25.6	11.2	44%
4	宮城	33.4	14.2	42%
5	秋田	42.3	14.8	35%
6	山形	34.5	11.8	34%
7	福島	30.3	11.1	37%
8	新潟	53.7	13.3	25%

※ 令和4年10月20日 米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針

1 販売数量の動向 (前年同月比)

※農水省HP 米に関するマンスリーレポート令和4年11月号より抜粋

	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月 ~12月計
小売事業者向け	107%	96%	84%	92%	108%	99%	99%	101%	100%	96%	98%	95%	97%
(※令和元年との比較)	(108%)	(107%)	(104%)	(101%)	(103%)	(102%)	(102%)	(106%)	(101%)	(99%)	(99%)	(102%)	(103%)
中食・外食事業者等向け	87%	88%	103%	121%	115%	104%	105%	100%	102%	100%	103%	103%	102%
(※令和元年との比較)	(86%)	(87%)	(91%)	(91%)	(87%)	(92%)	(91%)	(85%)	(90%)	(91%)	(94%)	(95%)	(90%)
販売数量計	97%	92%	91%	102%	111%	101%	102%	101%	101%	98%	100%	99%	99%
(※令和元年との比較)	(97%)	(98%)	(98%)	(96%)	(96%)	(98%)	(97%)	(96%)	(96%)	(96%)	(97%)	(99%)	(97%)

	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4年1月 ~12月計
小売事業者向け	97%	95%	99%	99%	97%	100%	96%	98%	97%				
(※令和元年との比較)	(105%)	(102%)	(103%)	(100%)	(101%)	(102%)	(98%)	(104%)	(98%)				
中食・外食事業者等向け	105%	101%	101%	103%	106%	104%	101%	109%	109%				
(※令和元年との比較)	(90%)	(88%)	(92%)	(94%)	(93%)	(96%)	(92%)	(93%)	(98%)				
販売数量計	101%	98%	100%	101%	101%	102%	98%	103%	102%				
(※令和元年との比較)	(97%)	(95%)	(98%)	(97%)	(97%)	(99%)	(95%)	(98%)	(98%)				

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年(5月までは平成31年)の同月との比較をした値を記載。